

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービスらんらん		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 25日		2025年 12月 24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28	(回答者数) 23
○従業者評価実施期間	2025年 11月 25日		2025年 12月 24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 13日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	充実した活動プログラム内容	毎月おでかけ、クッキング等の季節を感じられる行事を盛り込み、平日も子供たちがわくわく、ドキドキときめいたりする遊びを5領域を踏まえ、スタッフみんなで話し合い、決めている。	安易に同じ遊びや、似たような遊びの繰り返しにならないよう、今後も子供たちが新鮮に感じ、課題の克服にもつながるような楽しい遊びを事業所として検討し続けていく。
2	将来を見据えた社会性を育むための支援	個々の課題による巧緻性や勉強だけでなく、身辺自立や他者との協調・社会性、コミュニケーション能力等、将来本人にとって助けになるであろう能力の獲得を目指した支援を行っている。	継続し、内部研修や外部研修を通してスタッフの支援スキルを向上させ、より本人やご家族に寄り添った支援を行っていただけるように研鑽を事業所として行っていく。
3	スタッフのスキルアップや法人内研修の充実	毎年研修計画に則り、虐待防止や感染症対策のような義務化された内容だけでなく、障害理解や、差別解消など職業倫理感を深める研修を全職員が受講できるような体制で法人研修を行っている。	今後は外部講師を招いての研修を増やしていただけるよう委員会とも検討し、さらに内容の充実を目指していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	専門職による支援	作業療法士・言語聴覚士・心理的支援など専門職による直接支援が望まれるが、現段階では確保できていない。	必要な人材の確保できるまでの間、現任の直接処遇職員が研修を重ね専門性につながる支援に取り組んでいく。
2	家族の対応力の向上のペアレント・トレーニング	子育てについてや、困った時の対応など各家庭から助言を求められた場合は、お子様の引き渡しの際や、面談時にお伝えはしているが、多くの保護者を対象とした研修や情報提供の取り組みは現時点ではできていない。	そういった場や機会の提供について、今後検討を重ね、将来的には実施していきたい。
3	生活空間のバリアフリー化	玄関框や、部屋の仕切り等改修が難しい箇所もあり、現時点で構造上のバリアフリー化は出来ていない。	大規模な改修は現時点では難しい課題。現在設置している手すりの活用や、スタッフによる見守りを徹底し安全の確保に努める。